

世帯と人口

(平成4年1月1日)
 世帯 36,495 (+121)
 人口 108,509人 (+244)
 男 55,966 女 52,543

広報えづな

編集・発行

海老名市役所広報広聴課
 〒243-04
 神奈川県海老名市勝瀬155
 ☎ (0462) 31-2111

1日～7日
成人病予防週間



習慣化した適度な運動は、成人病予防とストレス解消に効果がある



原因は不健康な生活 あなたの「決意」が成人病を防ぐ

医学の進歩、生活環境の向上などで日本人の平均寿命は年々伸び続け、去年は男性七十五・八歳、女性は八十一・八歳に達しました。反面、老化現象に伴っておきる成人病が日本人の死因順位の上位を占めるようになり、患者数も年々増加しています。今回はこの成人病の予防策について紹介します。

別名は“習慣病”
二月一日から七日間は成人病予防週間です。同週間は厚生省が昭和三十四年に設けたもので、この時期が選ばれました。

ので、成人病のひとつである脳卒中（脳血管、くも膜下出血など）になる人が特に二月に多いため、この時期が選ばれました。

ストレスの蓄積など、日常の不健康な生活習慣が原因で、自覚症状が少ないとため症状が現れたときは重症になっていることがあります。



仕事のストレス解消に一服。でも、吸い過ぎは禁物。タバコは控え目に、お酒もほどほどが一番

20代 始まっている老化

20代は仕事で無理をしたり暴飲暴食をしても比較的早く回復するため、不摂生な生活が習慣になります。しかし、老化は20代からすでに進行しているので、不規則な生活を続ければやがて30代、40代でそのツケに泣くことになります。20代から規則正しい生活をすることが、成人病予防の第1歩です。

40代は『潜伏』していた成人病が心と体に現れてくる時期もあります。この年代の特徴は仕事や家庭が充実する反面、職場では地位と責任からくるストレス、家庭では子供の進学問題など気苦労が多いことです。年1回の定期検診だけに頼らず、心配ならさらに精密な検査を受けるなどして、自覚症状のない成人病の早期発見に努めてください。

40代 欠かさず定期検診

40代は『潜伏』していた成人病が心と体に現れてくる時期もあります。この年代の特徴は仕事や家庭が充実する反面、職場では地位と責任からくるストレス、家庭では子供の進学問題など気苦労が多いことです。年1回の定期検診だけに頼らず、心配ならさらに精密な検査を受けるなどして、自覚症状のない成人病の早期発見に努めてください。

大切な食事と運動

成人病を予防するには次のようないい生活習慣を身につけ、病気を早期に発見し治療することが大切です。
 ①いろいろ食べる：魚、肉、野菜、果物、米、パン、めんなどを含まれて、俗に「習慣病」とも言われる。これらは偏った食生活やスト

ストレスの蓄積など、日常の不健康な生活習慣が原因で、自覚症状が少ないとため症状が現れたときは重症になっていることがあります。

30代 趣味や運動見つけて



三十代は体力も低下し、家庭や仕事の面で責任がでてくることからストレスが大きくなります。ストレスの上手な発散方法を工夫し、一生付き合える趣味や運動を見つけることが三十代の健康づくりに欠かせないポイントです。

50代 無理せず健康づくり

50代は筋力や内臓の働きが低下し、同時に運動不足になります。そこで、駅までの道を歩くなど、生活の中で無理をせず、健康的な心掛けるとともに、成人病検診を積極的に受け、場所によっては検診結果に基づき、生活習慣を変えていくことも大切です。



仕事のストレス解消に一服。でも、吸い過ぎは禁物。タバコは控え目に、お酒もほどほどが一番です。しかし、度を過ぎた運動は逆効果です。特に中年を過ぎてから運動を始める人は必ず医師のチェックを受け、自分にとっての最適な運動量を算出し、運動の前後には十分な準備をほどこしての運動を心がけましょう。

